

滋賀県産業人材育成プロジェクト

## 「高島の宝物」 新商品発表会

10月30日(火)に県立安曇川高等学校で、今回新たに高島屋から講師を迎えて開発した商品が完成し、市長や高島屋洛西店長らの前で生徒によるプレゼンテーションが行われました。(16ページの市長雑記も併せてご覧ください。)

—真剣に話を聞く生徒たち—



主な内容

- 特集1 子どもの貧困って何!?  
いま、居場所づくりに取り組む理由 … ②
- 特集2 高島市で家族をつくろう! …………… ④
- ・運転中のあらゆる危険を予測しましょう…………… ⑧

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます!

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

マチイロ

検索

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者のご負担になります。

高島市公式

フェイスブック  
Facebook

インスタグラム  
Instagram

で情報発信中!

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」 ・Instagram「takashima city #たかP写真館」



イメージキャラクター  
「たかP」

# 子どもの貧困って何!?

ひんこん

## いま、居場所づくりに取り組む理由

わけ

「子どもの貧困対策」が必要だといわれている今、市内でも子ども食堂など、さまざまな居場所づくりや環境整備の取り組みが進んでいます。

現代の貧困について、マスメディアなどで繰り返し出てくる「子どもの貧困率13.9%、およそ7人に1人」という数字を聞いたことがある人は多いと思います。また一方で、「うちの地域には貧困状態の子はいない」という声もあります。

### 全国における子どもの貧困の現状と背景

- ▽子どもの貧困率 18歳未満の子どもで **13.9%**
- ▽ひとり親世帯での貧困率 **50.8%**
- ▽生活保護世帯の子ども高等学校等進学率 **93.6%**  
(全体 99.0%)

(平成28年度「国民生活基礎調査」、平成29年4月厚生労働省調査より)

「子どもの貧困」には、2種類あります。食べ物や着る物に困る生活を強いられる「絶対的貧困」、そして世帯の手取り収入額が全世帯の中央値の半分以下(約122万円以下)の水準で生活している「相対的貧困」です。相対的貧困状態にある子どもたちは、友達関係が疎遠になるような「関係性の貧困」や、さまざまな体験が制限されるといった「機会の貧困」につながることが多くなります。

これは、今の子どもたちが置かれている社会が、塾もスポーツも友人関係でさえも、お金の有

## 多様な子どもの居場所づくり



無に左右されることが多くなっているからです。だからこそ、経済的事情に左右されない人間関係づくりやさまざまな体験ができる居場所が必要なのです。市では、まちの将来を担う『地域の宝』である子どもたちの将来が、生まれ育った環境や貧困状態によって奪われることがないように、官民が連携した必要な環境整備や教育の機会均等を図ることが、極めて重要だと考えています。

市では、生活保護世帯や生活困窮状態にあるなど、さまざまな困難を抱える子どもと保護者を対象に、学習支援や生活支援を実施しています。

「つながり応援センターよろず」が中心となり、市内の社会福祉法人や企業、市民ボランティアの皆さんと協働しながら子どもたちに寄り添った居場所づくりを展開しています。

## 学習支援と生活支援



# 子ども食堂

最近県内で広がっている「子ども食堂」。食事を通じた垣根のない場をつくることで、子どもたちを地域で見守り、育み、地域ぐるみで大切にする取り組みとして実施されています。

今、地域で薄れつつある地域のつながりを取り戻すことで、地域での孤立をなくし『子どもの困窮の予防と早期発見を目指す』、これが子ども食堂に期待されている役割です。

9月末時点で県内に102か所、市内でも住民福祉協議会や地域住民の有志などを中心に7か所が開設されています。市内で実施されている子ども食堂の取り組みの一部を紹介します。

### 新旭子ども食堂

新旭住民福祉協議会が運営委員会を組織して平成29年12月に開設しました。毎月第2土曜日(12時~15時)に杉の木会館で開催しています。

毎回20人ほどのスタッフで約70人の参加者を受け入れ、カレーを中心に焼き芋やパンケーキなど工夫を凝らしたおやつを提供しています。

子ども食堂が他地域にも広がるよう思いを込めて活動しています。



### 安曇川ふれあい子ども食堂

安曇川住民福祉ネットワークが中心となり、平成30年3月に開設し、更生保護女性会、民生委員、個人ボランティアなどで運営しています。毎月第3土曜日(11時~14時)に、安曇川公民館で開催しています。子どもやお年寄り、家族連れたち約80人が集まり、楽しく交流しています。

将棋・オセロ・折紙など用意しています。地域のふれあいの居場所となるよう活動しています。



### 児童育成支援の会セカンドホーム未来

「子どもを支える力を集めたい」という保護者の声をきっかけに、教育行政・学童・学校関係者と保護者が発起人となり、区・学校・青少年育成・福祉・健康などの団体・関係者、個人が呼びかけに賛同し、平成30年6月にスタートしました。毎月第4土曜日(12時~15時)に、今津あいあいタウン地域交流センターで開催しています。

「生きづらさを感じている児童や青年を支え、さまざまな人が出会い学び合う場」を目指しています。



### 新旭駅前ふれあい食堂

「ごはん」を通して地域ぐるみで子どもを見守り育てていくこと、また食堂をきっかけにさまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかない、あたたかいまなざしがあふれる地域づくりを目指して、平成30年6月に実行委員会を立ち上げました。毎月第4日曜日(12時~15時)に、新旭駅西ショッピングセンターエスパで開催しています。

子どものみならず、地域の高齢者も多く参加されていて、毎回約100人の参加者でにぎわっています。



岡高島市社会福祉協議会  
☎(36)82220

岡社会福祉課 ☎(25)8120

# 高島市で家族をつくろう！

出会いから結婚  
妊娠、子育ての  
切れ目ない支援  
を約束します！

子育て支援課  
☎(25) 8136



## たかしま結びと育ちの応援団 ってどんな活動しているの？

平成26年から「子育て応援事業」と「縁結び応援事業」の二本立てで活動をしています。

人が生まれ、育ち、自立していく過程において、子育ても縁結びも大切な取り組みであり、地域全体で応援できる環境が必要だと考えています。

社会のありようが急激に変化している今、氾濫する情報と多様化する選択肢の中で、子育てや結婚にも悩みや迷いが増えています。

たかしま結びと育ちの応援団では、相談窓口を通して、そうした方々に寄り添っています。「家族とは、結婚とは、夫婦とは何か」を改めて考える機会をつくり、希望が叶うためにどうすれば良いのか、誰の力を借りると良いのかなど、市内外の支援機関と連携しながら活動しています。

詳しい活動の内容やイベント情報などは、ホームページやフェイスブックをご覧ください。



▲ホームページ



▲フェイスブック



みんなでワイワイ小物作り



相談者の希望を叶えるためにどうすれば良いか、支援機関と連携して話合っているようす

### 結婚したいと思ったら…

【結婚相談】  
縁結びボランティアが相談に応じます。

【講演・セミナー】  
コミュニケーション能力向上研修や支援者向けのセミナーを開催しています。

### 子どもを授かったら…

【マタニティカフェ】

妊婦さんが集まり手作り小物を作りながら、妊娠中の心配事や子育てについて話し合います。

## 高島で出会い結ばれ、 新生活を始めました！

昨年行われた高島地域農業センター主催のイベントで出会い、今年の3月にご結婚されたお二人にお話を聞きました。夫さんは、今年から農業を始められました。市外から転入された妻さんも共に農業をする道を選びました。

農業センターのイベントで出会われたということですが、どのようなきっかけで参加されましたか？

夫さん 回覧板でチラシを見て友達と一緒に参加しました。

妻さん 高島市に嫁いだ仲の良い友人から教えてもらいました。農業に興味があったので、楽しそうなイベントだと思い参加しました。

結婚をして良かったことはどんなことですか？

夫さん 結婚する上で、一からの就農を理解し、受け入れてくれたことに関しては感謝があります。結婚と就農で一気に生活は変わりましたが、夫婦の間を大切にできる今の生活を楽しんでいきます。

### 子どもが生まれたら…

【子育て講座】

育児に役立つ講座を行っています。子育てのヒントとしてご利用ください。

親子で楽しむ  
アナログゲーム



元気な身体をつくる「子育て教室」



赤ちゃんもうれしい「だっことおんぶ教室」



妻さん 高島のきれいな水や豊かな自然には以前から憧れており、その中で生活できることに喜びを感じています。夫や周りの人たちも良い方ばかりで、ますます高島が好きになっていきます。結婚して良かったです。

これから結婚をされる方、婚活を考えている方にアドバイスをお願いします。

夫・妻さん 婚活と聞くとうしろでも変に身構えたり緊張したりしてしまうので「婚活に参加する」ではなく「イベントを楽しむ」に行く、遊びに行くような感覚で捉えたらいいと思います。力を抜いて楽しんでいたらそこの会話ももっと弾むと思います。

夫さん 結婚するということは大きな決断だと思います。しかし悩んだときは原点に戻りどんな形であれ「一緒に居たいか」という気持ちに正直になればいいと思います。

妻さん 何かを始めるには勇気がいるかもしれませんが、一歩踏み出してみればいかがでしょうか。

## 高島地域農業センターと 協力してイベントを開催！

高島地域農業センターでは、担い手育成対策事業の一環として、平成3年から男女の出会いを応援しています。

最近では、「稲刈り恋活」や「柿収穫体験と芋煮会」を開催しました。この3年間で二組のカップルがめでたくご結婚されました。

これからも楽しいイベントを開催していきますので、ぜひご参加ください！ ☎(22) 3178

### 縁結びボランティア募集！

結婚を望む方を応援したいというボランティアが集まり、縁結び相談やイベントなどの活動をしています。

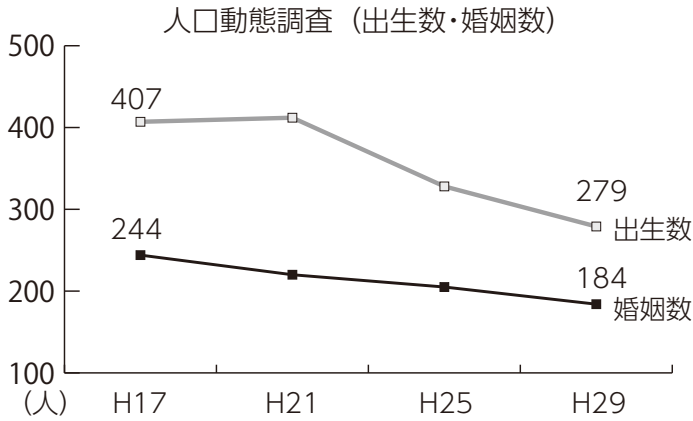
お見合い・婚活イベントのサポートやチラシの配布など、お手伝いしていただける方を募集しています。

詳しくは、たかしま結びと育ちの応援団までお問い合わせください。 ☎(33) 7758

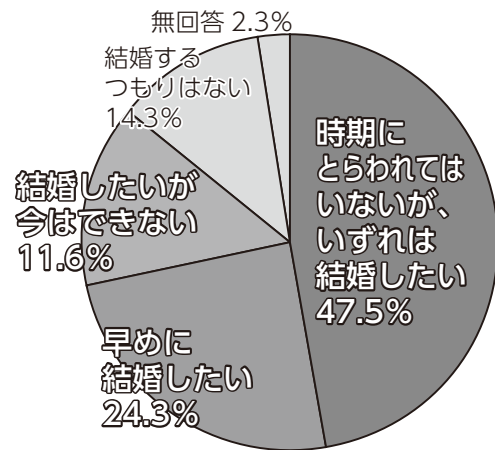
# 最近、近所の子どもたちが 少ないと感じませんか？

全国的に少子化が問題視されていますが、高島市の状況はどうなっているのでしょうか。

平成17年と平成29年を比べると、出生数は128人、婚姻数は60件減少しています。全国的に少子化が進んでいる要因の一つに婚姻数の減少が挙げられています。市においてもその傾向は顕著に表れています。



それでは、実際に結婚されていない方は結婚についてどのような考えを持っているのでしょうか。



平成26年に行った「高島市総合計画」および「地方創生総合戦略」策定に関するアンケート調査結果によると、83.4%の方が結婚に前向きであることが分かります。

## 結婚・妊娠・子育ての希望が叶う支援を行います

仕事、結婚、子育てなど自分の人生にとって大切な選択をしなければならぬ場面はたくさんあります。

一人一人の選択を尊重し、希望が叶うように、市としても応援していきます。

## 高島市で新生活をスタートされる方を応援します！

結婚をされ高島市で新生活を始められる方を対象にその費用の一部の助成を行っています。

### ★対象世帯

- ①平成30年4月1日から平成31年2月28日までの間に婚姻届を提出し受理された世帯
- ②婚姻届提出時に夫婦ともに34歳以下の世帯
- ③平成29年度分の夫婦合算所得が340万円未満の世帯

### ★補助金額

上限 30万円

### ★補助対象経費

- ①新たに物件を取得した場合の経費
- ②新規の住宅賃借経費  
(賃料・敷金・礼金・共益費・仲介手数料)
- ③引っ越し費用  
(引越業者または運送業者へ支払った実費)

### ★申請期間

平成31年2月28日(木)まで

詳しくは、市のホームページをご覧ください。



「たかP」・「しまK」